

## 第二期地域創生戦略の策定に係るこれまでの経緯

### 1 第二期兵庫県地域創生戦略の策定

#### (1) 地域創生戦略会議（年2回開催予定）

- 産官学金労言で構成、現行地域創生戦略の実施状況の検証や次期地域創生戦略案を協議

#### 【スケジュール】

- 1回目（8月23日）…実施状況報告、次期地域創生戦略の方向性について
- 2回目（1月9日）…第二期地域創生戦略案

#### (2) 地域創生戦略会議企画委員会（年4回開催予定）

- 次期地域創生戦略の目指すべき姿や重点施策等を協議
- 骨子案等の協議に当たり、各分野別検討会の議論の成果をベースとする

氏名	役職
赤澤 宏樹	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授
阿部 真大 ○	甲南大学文学部教授
石川 路子	甲南大学経済学部教授
上村 敏之	関西学院大学経済学部教授
織田澤 利守 ○	神戸大学大学院工学研究科准教授
定藤 博子	鹿児島国際大学経済学部専任講師
清水 陽子	関西学院大学総合政策学部教授
高根沢 均 ○	神戸山手大学現代社会学部准教授
松原 永季 ◎	(有)スタジオ・カタリスト代表取締役
山下 紗矢佳	神戸山手大学現代社会学部講師
勇上 和史	神戸大学大学院経済学研究科准教授
横山 由紀子	兵庫県立大学国際商経学部教授

◎は企画委員会委員長、○は分野別検討会委員長

#### 【企画委員会での主な意見】

日程	主な意見
第1回 (7月26日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が減少しても暮らしやすい地域をつくるべき</li> <li>個性ある地域が自立することが地域創生のゴールである</li> <li>地域の特性を考えた地域区分に応じた施策が必要</li> </ul>
第2回 (9月3日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中高の段階別に地元企業に“関わる”仕掛けづくりが必要</li> <li>全県一律ではなく、モデル的に施策展開した方がよい</li> <li>地域の外に出た人をどう地域に繋ぐか。ネットワークが出来ると地域に戻りたくなる</li> </ul>
第3回 (10月28日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゾーンで考え、メリハリをつけた施策が展開できると面白い</li> <li>一つのゾーンだけでなく、他のゾーンと連携することが必要</li> </ul>

## 第4回（11月29日）の概要

### ○地域創生戦略の基本理念

- ・理念には「多様な価値観」と「価値観が受け入れられる環境」も重要。
- ・県民に「自分たちでもできるんだ」と思わせるような理念がよい。
- ・課題が多いが、人口が減ることによって出てきた「強み」（例えば土地が出てきた）などをもっと書いたら良いのではないか。
- ・「挑戦」や「新しい価値」などのキーワードを入れて、もっと若者に元気や希望が与えられるイメージを強調したい。

### ○女性の就業促進

- ・女性の就業促進には男性の働き方や意識も変わらなければならない。

### ○外国人材の受入促進

- ・外国人材は留学生か、実習生かによって企業の受入体制も変わってくるため、タイプ別に指標を設ける必要がある。

### ○地域産業の振興

- ・以前からある地域の企業や産業をいかに存続させていくかが課題。
- ・地域のローカル経済の循環といったニュアンスが抜けている。

### ○その他

- ・地域自治が成り立たないところもあり、地域の組織を再編する必要がある。
- ・地域創生戦略の冊子について、例えば、小学生や子ども向けにつくるのも一つではないか。

## (3) 地域創生戦略会議企画委員会分野別検討会（年2回開催）

- ・地域創生の課題について、3部会に分かれ現状把握や対策の方向性を検討
- ・分野別会議での議論の成果は、委員長が企画委員会で報告

### ①若者定着・還流部会……………（第1回 7月26日、第2回 8月9日）

#### 【主な意見】

- ・大手就職情報サイトに掲載されていない企業には学生の目が向かない
- ・就職活動の前に地元企業を教えるべき
- ・多様な働き方やキャリア形成で女性の選択肢を拡大する必要がある
- ・等身大のロールモデルがあればよい

## ②魅力あるまちづくり部会……（第1回 7月23日、第2回 8月19日）

### 【主な意見】

- ・暮らし、観光、産業などテーマ性をもった地域区分がよい
- ・地の中心性を見出し活性化させることで、周辺に波及させる必要がある
- ・地域に面白い仕事があれば若い人は残る。地域で雇用をつくるローカル経済圏をつくるべきだ

## ③未来の担い手育成部会……（第1回 7月25日、第2回 8月20日）

### 【主な意見】

- ・一度地域から外へ出た人材は人脈やクリエイティビティを持ち帰ってくるので、そういう人材を発掘することが重要
- ・地域の中で企画力が低下しているので、地域と信頼関係がある中間支援組織が必要
- ・二地域居住などひょうごの特性を生かしたライフスタイルの構築が重要

## 【参考 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略】

### 国の長期ビジョン、総合戦略

令和元年12月策定

長期ビジョン(改訂):2060年に約1億人の人口を確保

第2期総合戦略:2020~2024年度(5か年)の政策目標・施策を決定

### 【基本目標】

- 1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる